

文化財修復用充填樹脂 『アルタイン MH』

〔特長〕

- ①本樹脂は、伝世する金工品や陶磁器、保存処理した考古遺物（木製品・金属製品）の保存修復などに幅広く用いることができます。
- ②アルタイン M よりも硬くなり、彫刻刀で切削することはできません。
- ③筆積みタイプ（MH-1）と、パテタイプ（MH-2）があります。
- ④接着、充填、補強、塑形が容易に行えます
- ⑤アルタイン M よりも硬化時間が短くなっています。

〔樹脂の成分〕

主成分：アルキルメタクリレート

副成分：変性ポリ酢酸ビニール・少量のフィラー・硬化剤・促進剤。

〔対象〕

伝世する金工品や陶磁器、保存処理をした考古遺物（木製品・金属製品）の修復等。

- ① 破片の接合及び接着（MH-1）
- ② 亀裂への充填（MH-1）
- ③ 大きな欠損部分の塑形（MH-2）

〔使用方法〕

●筆積みタイプの MH-1 は、「液体・粉体」が1セットで販売提供されます。

- ①液体と粉体を容器（紙コップやディスクカップなど）にそれぞれ入れます。
- ②筆先を液体で湿らせてから、粉体をすくって、玉を作ります。
- ③玉状に筆先についた樹脂を、施工箇所に積んで充填します。
- ④硬化後に、精密グラインダーなどを用いて表面を整えます。
- ⑤アクリル絵の具等で着色することができます。

●パテタイプの MH-2 は、「液体・粉体」が1セットで販売提供されます。

- ①樹脂の混合比率は液体1：粉体2が標準です。
- ②樹脂の調合には紙コップやディスクカップなどを用います。
- ③攪拌後、手袋の指先に少量の水を付けて手で練って軟らかい餅状にします。^{※1}
（練り始めてからも付くようであれば更に少量の水を付けてください）
- ④餅状になった樹脂を、施工箇所に詰めていきます。接着力を高めるために、あらかじめ施工面に液体の方を塗布してください。
- ⑤硬化後、精密グラインダーなどを用いて表面を整えます。
- ⑥アクリル絵の具等で着色することができます。

※1 樹脂の硬化時間は室温 20℃で約 10 分です。硬化までの時間は室温が高い程早く、低いと長くなります。

〔注意事項〕

- ①大量に充填する場合、樹脂が硬化するときの反応熱で本体に割れが生じることがあります。少量ずつ何度かに分けて充填してください。
- ②使用後の筆先は液体を用いて洗浄し、筆先をそろえて保管してください。
- ③MH-1を使用後に、余った液体を元の容器に戻さないでください。容器の中の液体が全て固まってしまうおそれがあります。
- ④粉体は粒子の比重の違いにより、分離することがあります。使う前には必ずよく振ってから使用してください。
- ⑤使用時には必ず換気を行ってください。
- ⑥使用時には必ず手袋を着用してください。
- ⑦使用後は必ず蓋をして密閉してください
- ⑧粉体・液体とも冷暗所で保管してください。
- ⑨当製品の使用で発疹等の過敏症状が現れたときは、すみやかに使用を中止し、医師の診断を受けてください。
- ⑩目に入った場合はすぐに水で洗い流し、異常がある場合は眼科医の診断を受けてください。